

市民の声を市政に

Kirishima City

19人がより良い市政を目指して

一般質問

霧島市議会 中継 検索

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォンのバーコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、19人の議員が一般質問を行いました。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。すべての質問と回答は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

議員顔写真下の二次元コードを、スマートフォンのバーコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

医療と介護の連携と、充実の将来展望を示せ



問 在宅医療・介護連携等の現状認識と将来展望を示せ。また医療体制の充実と施設介護、在宅介護の現状認識と将来展望を示せ。

答 病床機能の分化・連携の推進、在宅医療・介護連携の推進を目指し、住みなれた地域で安心して自分らしい生活を継続できる地域を目指す「地域包括ケアシステム」の構築を推進する。また医療機能を内包した施設系サービス等、新たな選択肢を含めた更なる医療と介護連携の強化を進めて、基盤整備など体制の充実を目指したい。

子育てしやすい環境整備を図れ

問 国は、産後ケア事業として、出産後の母親が産後うつ等による新生児への虐待を予防するなど新たな助成事業を本年度から予算化した。本市においても、これらの助成事業の早期導入を検討すべきではないか。

答 出産年齢の高齢化、核家族化等により、出産直後に家族からの支援が得られない産婦が増えていく。出産直後の母親や乳児に対する支援を充実させる必要がある。このような課題やニーズ等を踏まえ、保険・医療・福祉等の関係機関との連携・協力を強化し、新たな取組の実施について検討する。

その他の質問
・公共施設管理計画について

区画整理事業の推進



問 隼人駅東の区画整理事業の概要と進捗状況はどうか。

答 見次交差点を中心とした市街地を主な商業、業務地として位置づけるとともに、JR隼人駅周辺においても、東口に交通広場や東西の連絡通路の整備を図り、新たな交通拠点として商業機能の充実したまちづくりを目指したい。施行面積は13.1haで、建物補償や都市計画道路日当山線の整備を行ってきており、平成28年度末現在の進捗率は29.9%である。

その他の質問
・防災と観光について

子育て環境の充実を

問 子育てをみんなが支えあう環境づくりの一環として、放課後児童クラブの充実が重要だが実態はどうか。

答 平成29年5月1日現在で、霧島市内49箇所の放課後児童クラブには、約1700人の児童が登録しており、小学校ごとの児童数の推移を把握しながら、必要な小学校には施設の整備等を実施している。昨年は宮内小、福山小、陵南小などに整備した。

また、夏休み期間中についても、各クラブで工夫をしながら対応しており、昨年は25クラブで107人を受け入れた。さらに、青葉小では空き教室を活用して15人が利用した。

春山台地にパークゴルフ場建設を



問 パークゴルフ愛好家の皆さんが借用していた旧霧島ハイツのパークゴルフ場が、閉鎖されることになった。春山台地は、将来、運動施設の拡張、農村公園として可能性のある地である。春山台地の活性化計画の一環として、将来の春山台地を見据えて地の利を生かし、また、民活等を利用しながら起伏に富んだパークゴルフ場の建設はできないか。

答 本市としては、まきのはらパークゴルフ場を充実させているので利用していただき、地域の活性化も図りたいと考えている。春山台地については、民活等活用して

きるかどうかも含めて、今後検討していきたい。



特認校生利用のふれあいバスの増便を

問 永水小学校、木原小・中学校の特認校生は、ふれあいバスを利用して通学しているが、満席に近い状態である。改善策は考えられないか。

答 大変混雑している状況であるが、慢性的な運転手不足で増便は難しい。また大型化による対応も困難な状況である。しかしながら、安全確保の面から問題があるの、児童・生徒数増の場合、ジャンボタクシー等の利用も考えたい。財政的な面もあるため、当面は利用状況の推移を見守って協議していきたい。

麓第一土地区画整理事業の完成を急げ



問 平成7年の区画整理事業開始以来22年経過しているが、終期の見えない状況である。公園計画用地は住民の土地減歩により、すでに市へ提供されている。早期完成に向け、具体的な整備進行計画を示すべきではないか。

答 麓第一土地区画整理事業の計画区域は、鹿児島空港前に位置し、急速に市街化の傾向が見られ



豪雨災害対策の強化を



問 昨年の豪雨災害を受けた天降川周辺の災害対策の進捗はどうか。市内の複数箇所が進む大規模太陽光発電所建設現場では、土砂流出や陥没、濁水が問題となっている。シラス台地の大規模な掘削や開発が抑制できる市独自の条例をつくるべきではないか。

答 松永用水路では、放水路の改修工事を実施している。宮内原用水路は、取水ゲートの遮断と湯田放水路の全開を遠隔操作により実施する協議を進めている。洗心閣跡地の事業でも災害に対応できるよう指示している。再生可能エネルギーの開発行為は県の許可権

国保の都道府県移行後も負担軽減策を

問 来々年4月から県が国保の保険者となる。高齢者や所得の少ない人が多く加入する国保は、霧島市独自で一般会計からの繰り入れを行う「税負担の軽減策」が必要だが、どのように議論しているか。

答 国保制度改革により、財政改善効果を伴う公費の投入が行われ、全国の自治体が一般会計から繰り入れている額より国が行う財政支援が上回ることとなる。今後については、財政状況等を考えながら県とも連携して対応していきたい。

その他の質問
・公共施設問題について